

## 消防業務の取り組むべき課題や改善案を訴える 「令和6年度消防職員意見発表岡山県大会」を開催します

県下14消防本部から選抜された消防職員14人が、5分の制限時間で今後の消防・防災への取り組むべき課題や業務の改善案等について発表します。

### 1 日時

令和6年4月12日(金)15時～17時

### 2 場所

ANAクラウンプラザホテル岡山 1階「曲水」(北区駅元町)

### 3 内容

- ・主催：岡山県消防長会(事務局：岡山市消防局)
- ・発表時間は1人5分。発表内容や表現力を学識経験者等8人の審査員が審査します。
- ・この大会において最優秀賞に選ばれた2人の職員は、中国支部消防職員意見発表会(令和6年4月26日山口県周南市)に出場します。さらに中国支部で最優秀賞に選ばれた1人は全国大会(令和6年5月30日大阪府堺市)に出場します。
- ・出場者名簿・発表テーマなどは、別紙にてご確認ください。



### 4 その他

取材を希望する社は、会場「曲水」前に報道受付を設けていますので、14時45分までにお越しください。

#### 【問い合わせ先】

岡山市消防局 消防企画総務課 西岡・長友 直通086-234-9970 内線3771

出場者名簿等

別紙

発表順位	所属	階級	氏名	発表テーマ	発表要旨
1	笠岡地区消防組合消防本部	消防士	石原 舞子	女性が消防士であり続けるために	憧れを抱いて消防士になった私たち女性が、育児休暇を終え、現場復帰に向けてできるための対策・取り組みを伝える。
2	東備消防組合消防本部	消防士	那須 くらら	子どもに伝える住警器	住宅用火災警報器が鳴動したときに、子どもでも正しく行動できるよう教育及び録音する音声メッセージを提案する。
3	津山圏域消防組合消防本部	消防士	宮前 聡志	高齢化地域の広報活動	高齢化地域での火災予防に関する広報活動について、消防団と連携し、住民に対して広報内容が確実に伝わる方法を提案します。
4	総社市消防本部	消防士	吉田 凌太	命を守る冒険	子供たちを対象に「消防サバイバルスタンプラリー」を開催し、「防災」を「楽しく知る」きっかけを与え、命を守る行動へ繋げる。
5	美作市消防本部	消防士長	岸本 和也	踏み出す勇氣	目の前で人が倒れた時の手段として、正しい救命方法を知り、身につけることの重要性について伝えます。
6	瀬戸内市消防本部	消防士長	井上 真利	開かれた消防署	市民と消防との壁を無くすために、定期的な消防署開放日を提案します。
7	玉野市消防本部	消防士	玄馬 歩武	BLSの義務教育化について	なぜ小学生に対する救急講習はないのだろうか。そう考える内にこのテーマに辿り着いた。「子どもが繋ぐ日本の命(みらい)」。
8	高梁市消防本部	消防副士長	植津 和真	真っ白な世界から甦る救命の連鎖	日本全国でAEDの普及が進む中、現場に居合わせた一般市民による救命処置とAED利用率の現状と課題について
9	岡山市消防局	消防士長	佐藤 年彦	廃棄消防服でSDGs達成へ	SDGsの取組として、当局が実施している廃棄消防服の売却事業について、参加企業を拡大し、継続的な取組とするための提案。
10	赤磐市消防本部	消防士	新谷 翔太	#消防にできる市民ファースト	「市民ファースト」を目指し、アンケート募集や、SNSでのイベント案募集で市民のニーズに沿った参加型の広報を提案します。
11	真庭市消防本部	消防副士長	池田 太一	安心安全バックアップ制度	消防法違反を減らすだけでなく、火災や被害も減らすために小さな防火対象物にある制度の提案をします。
12	倉敷市消防局	消防士	井出 隼斗	質の高いバイスタンダーの育成を目指して	バイスタンダー視点の動画を取り入れた普通救命講習で、質の高いバイスタンダーを育成し、命をつなげたい。
13	井原地区消防組合消防本部	消防士	垣内 貴大	早く見つけて、大切な命	悲惨な孤独死の現場に着目しました。消防職員が行う情報発信で、住民全員に孤独死の現状を伝え、予防と早期発見に繋げたい。
14	新見市消防本部	消防副士長	上田 晟矢	「30分4050円」	緊急性の低い救急搬送が状態化するリアルな現実を打開すべく、民間救急の役割を明確にし、救急車の適正利用に繋げていきたい。